

I . 事業実施報告

事業概要

新潟県立看護大学では、大学と地域の交流の場として「看護研究交流センター」を平成14年4月に開設しました。

大学の建学の精神である「ゆうゆう・くらしづくり」に基づき、大学の教育・研究の成果を地域へ提供し、活動を通じて地域と大学が共に成長していくための橋渡しを担っています。

地域の皆様からの要望をもとに、5つの部門の活動を柱にして、大学の教職員が情報を発信しています。

I 目的

看護研究交流センターは、看護科学における教育と研究の成果を地域に還元し、県民及び保健医療福祉関係者に対する学術支援並びに生涯学習・研修支援活動を通して、県内の保健・医療・福祉の向上に貢献することを目的としています。

II 各部門の主な活動内容

1. 先駆的学習支援部門 【市民公開講座】【看護大・上教大連携公開講座】

医療分野の著名な知識人や、先駆的な取り組みを行っている実践者を招いた市民公開講座を開催している。また、上越教育大学との連携事業を担っている。

2. 地域社会貢献部門 【いきいきサロン】

地域の医療者・大学と地域住民の交流会であるいきいきサロンを開催し、地域住民への学習の機会を提供している。

3. 看護職学習支援部門 【どこでもカレッジ公開講座】【バーチャルカレッジ】

現職の看護師や潜在看護師のリカレント教育を推進する事業「どこでもカレッジプロジェクト」を主体に、県内の看護職者への学び直しの機会を提供している。

4. 地域課題研究開発部門

【地域課題研究】【地域課題研究発表会】【上越地域看護研究発表会】

県内の保健・医療・福祉に携わる看護職と本学教員との共同研究の成果報告会である地域課題研究発表会や、上越地域の看護研究の発表の場である上越地域看護研究発表会の開催(上越地域振興局健康福祉環境部と共催)を担っている。

5. 特別研究部門

【地域健康支援】

上越地域の自然環境と医療・看護・福祉に関する資源を用いて、地域の活性化と人々の健康な暮らしを目的として活動する自治体と協力し活動を行っている。

【卒業生支援】

卒業生に対する支援体制が整備されておらず、平成26年度より卒業生に対する支援体制の検討を目的として活動を開始している。

【地域政策課題】

地域の課題を関係者と協働して政策的にまとめ、新潟県内の各地域が「健康・福祉のまち」として充実していくための事業を展開する。

III 事務局

【出前講座】

本学教員の研究成果等を地域へ還元する地域貢献活動の一環として実施している。

【茶話会】

卒業生支援事業の一環として、卒後1、2年の卒業生を対象に茶話会を開催している。

IV 平成 28 年度 看護研究交流センター構成員

区 分	氏 名	職 名
	センター長 水 口 陽 子	基礎看護学教授
先駆的学習支援部門	部門長 平 澤 則 子	地域看護学教授
	境 原 三 津 夫	自然科学教授
	山 田 正 実	成人看護学准教授
	後 田 穰	精神看護学講師
	野 口 裕 子	地域看護学助教
	大 崎 麻 美	成人看護学助手
地域社会貢献部門	部門長 高 林 知 佳 子	地域看護学准教授
	大 久 保 明 子	小児看護学准教授
	川 野 英 子	地域看護学准教授
	安 藤 亮	老年看護学助教
	天 谷 ま り 子	母性看護学助教
	久 保 野 裕 子	地域看護学助手
	安 達 寛 人	精神看護学助手
	伊 藤 ひ か る	精神看護学助手
	坂 田 智 佳 子	成人看護学助手
看護職学習支援部門	部門長 岡 村 典 子	基礎看護学准教授
	高 林 知 佳 子	地域看護学准教授
	飯 田 智 恵	成人看護学講師
	中 澤 紀 代 子	母性看護学助教
	石 原 千 晶	成人看護学助教
	高 塚 麻 由	助産学助教
	川 島 良 子	基礎看護学助教
	大 倉 由 貴	老年看護学助手
	相 澤 達 也	成人看護学助手

区 分	氏 名	職 名
地域課題研究開発部門	部門長 飯 吉 令 枝	地域看護学准教授
	石 田 和 子	成人看護学教授
	河 原 畑 尚 美	老年看護学准教授
	井 上 智 代	地域看護学講師
	北 村 千 章	小児看護学講師
特別研究部門	部門長 永 吉 雅 人	情報科学准教授
地域健康支援	リーダー 小 林 綾 子	成人看護学講師
	山 田 真 衣	小児看護学助教
卒業生支援	リーダー 高 島 葉 子	助産学教授
	原 等 子	老年看護学准教授
	永 吉 雅 人	情報科学准教授
	エルダトンサイモン	情報科学講師
地域政策課題	平 澤 則 子	地域看護学教授
	野 村 憲 一	自然科学教授
	リーダー 高 柳 智 子	成人看護学教授
	飯 吉 令 枝	地域看護学准教授
	井 上 智 代	地域看護学講師

事 業 費

平成 28 年度予算配分額 4,841 千円

I 各部門配分額

先駆的学習支援部門	329
地域社会貢献部門	162
看護職学習支援部門	1,355
地域課題研究開発部門	237
特別研究部門	131

II 地域課題研究

研究代表者	配分額
古市 麻由子 (長岡赤十字病院)	96
中村 幸恵 (さいがた医療センター)	43
飯塚 文恵 (ライフサポートゆう)	98
廣田 光恵 (糸魚川総合病院)	91
室岡 真樹 (新潟県庁総務管理部人事課)	89
小坂 智恵子 (パナソニック(株)エコソリューションズ社)	92
佐藤 靖子 (長岡中央総合病院)	100
佐藤 祐子 (長岡赤十字病院)	90
鈴木 咲子 (長岡赤十字病院)	99

III その他

事務局管理費	1,829
合計	4,841

平成28年度 看護研究交流センター公開講座参加者数

	日時	講座名	テーマ	参加者数
1	5月19日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	歯を「なおす」から「まもる」へ	98
2	5月21日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	看護研究のテーマをみつけよう	14
3	6月4日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	文献検索の基本 ～看護研究の論文を探す・入手する～	13
4	6月11日(土) 10:00～16:00	どこでもカレッジ	患者の安全を高めるTeamSTEPSの導入	49
5	6月16日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	認知症予防につながる脳トレ法	170
6	6月25日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	さあはじめよう看護研究 ～研究計画書の書き方まで～	12
7	7月2日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	排泄ケアの援助技術 ～失禁患者さんのスキンケア～	30
8	7月9日(土) 13:30～15:30	看護大・上教大 連携公開講座	女性のダイエットと健康	71
9	7月16日(土) 9:30～17:20 7月17日(日) 9:30～17:00	どこでもカレッジ	第5回ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムin上越 「エンド・オブ・ライフ・ケア に関わる看護師のための研修会」	29
10	7月21日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	薬剤師が本音で語る薬の功罪	154
11	9月3日(土) 9:30～12:30	どこでもカレッジ	呼吸のフィジカルアセスメント	35
12	9月3日(土) 13:30～15:30	どこでもカレッジ	気管吸引技術とそのエビデンス	29
13	9月10日(土) 10:00～16:00	どこでもカレッジ	看護研究のための統計処理 (統計専門ソフトSPSSの紹介)	6
14	9月15日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	人と人とのつながりがみんなを元気に	104
15	9月24日(土) 9:30～12:30	研究発表会	平成28年度 第7回 上越地域看護研究発表会 (上越保健所共催)	119
16	9月24日(土) 13:30～15:10		平成27年度 地域課題研究発表会	66
17	9月27日(火) 10:00～15:30	どこでもカレッジ	わかりやすいプレゼンテーションのやりかた	6
18	10月1日(土) 13:30～15:00	どこでもカレッジ	終末期の看取りについて	90
19	10月9日(日) 10:00～12:30	どこでもカレッジ	【第1部】 誤嚥を防ぐポジショニングと食事と口腔ケア	99
	10月9日(日) 13:30～16:30	どこでもカレッジ	【第2部】 ポジショニングで食べる喜びを伝えるPOTTプログラム	演習 32 見学 28
20	10月20日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	見て学ぼう皮膚の病気 ～どういった時に皮膚科を受診したらいいのか?～	168
21	10月28日(金) 18:00～19:30	市民公開講座	人体の微生物ワールド：超生命体としてのヒト	171
22	10月29日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	自分を活かし後輩を活かす プリセプターシップ/パートナーシップのあり方	25
23	11月17日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	ストレス -「スタンフォードのストレスを力に変える教科書」の紹介-	147
24	11月26日(土) 13:30～15:30	どこでもカレッジ	看護を「教える」ということ ～実習指導と新人看護師の教育において～	93
		いきいきサロン	(6回)	841
		どこでもカレッジ公開講座	(14回)	590
		市民公開講座	(1回)	171
		看護大・上教大連携公開講座	(1回)	71
		研究発表会	(2回)	185
		合計	(24回)	1,858

事業広報活動

I 情報公開

情報公開についての活動は以下のとおりである。

1. 平成 27 年度看護研究交流センター活動報告書 : 平成 28 年 4 月発行
2. 平成 28 年度看護研究交流センターご案内(リーフレット) : 3,100 部
3. 平成 28 年度看護研究交流センター出前講座(パンフレット): 1,400 部
4. 看護研究交流センター ホームページ
5. いきいき県民カレッジ: 平成 26 年度より看護研究交流センターの公開講座を登録
(※どこでもカレッジ公開講座の一部を除く)

II 広報活動

広報誌、新聞、ラジオ等における広報目的の掲載は以下のとおりである。

1. 先駆的学習支援部門(22 回)

講座名	記事掲載・放送
『看護大・上教大連携公開講座』 女性のダイエットと健康	市報みょうこう(6/1)、上越 ASA ニュース(6/14・6/24)、広報上越(6/15)、新潟日報(6/19)、上越かわらばん(6/19)、上越タイムス(6/21・7/8)、上越よみうり(6/15・6/22)、朝日新聞(6/24)、有線放送
『市民公開講座』 人体の微生物ワールド ～超生命体としてのヒト～	新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)、広報上越(9/15)、上越タイムス(9/27)、上越 ASA ニュース(10/1)、上越かわらばん(10/14)、上越よみうり(10/19・10/20・10/21)、朝日新聞(10/21)、有線放送

2. 地域社会貢献部門『いきいきサロン』(68 回)

講座名	記事掲載・放送
【第 1～6 回】	FM みょうこう(4/1)
【第 1 回】 歯を「なおす」から「まもる」へ	上越タイムス(4/26・5/18)、上越よみうり(4/29)、広報上越(5/1)、FM-J エフエム上越(5/3)、FM みょうこう(5/4)、上越 ASA ニュース(5/12)、朝日新聞(5/13)、有線放送
【第 2 回】 認知症予防につながる脳トレ法	上越かわらばん(5/23)、上越タイムス(5/31)、広報上越(6/1)、上越 ASA ニュース(6/7)、朝日新聞(6/10)、上越よみうり(6/10・6/13・6/15)、有線放送
【第 3 回】 薬剤師が本音で語る薬の功罪	上越かわらばん(6/24)、上越タイムス(6/28)、広報上越(7/1)、市報みょうこう(7/1)、上越よみうり(7/2・7/3・7/4・7/15)、上越 ASA ニュース(7/12)、朝日新聞(7/15)、有線放送

講座名	記事掲載・放送
【第4回】 人と人とのつながりがみんなを元気に	新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.29(7月)、上越かわらばん(8/18)、上越タイムス(8/30・9/14)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)、広報上越(9/1)、上越 ASA ニュース(9/1)、上越よみうり(9/5・9/6・9/9)、joetsu assh(9/8)、朝日新聞(9/9)、有線放送
【第5回】 見て学ぼう皮膚の病気 ～どういう時に皮膚科を受診したらいいのか?～	新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.29(7月)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)、上越かわらばん(9/28)、広報上越(10/1)、上越タイムス(10/4)、上越 ASA ニュース(10/7)、朝日新聞(10/14)、上越よみうり(10/14・10/19・10/20)、有線放送
【第6回】 ストレス ～「スタンフォードのストレスを力に変える教科書」の紹介～	新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.29(7月)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)、広報上越(11/1)、上越タイムス(11/1・11/16)、上越かわらばん(11/1)、市報みょうこう(11/1)、上越 ASA ニュース(11/9・11/16)、朝日新聞(11/11)、上越よみうり(11/11・11/13・11/15)、有線放送

3. 看護職学習支援部門『どこでもカレッジ公開講座』(26回)

講座名	記事掲載・放送
看護研究のテーマをみつけよう	上越タイムス(4/5)、新潟日報(4/10)
患者の安全を高める Team STEPPS の導入	上越タイムス(5/3)
さあはじめよう看護研究 ～研究計画書の書き方まで～	上越タイムス(4/5)
排泄ケアの援助技術 ～失禁患者さんのスキンケア～	上越タイムス(5/10・7/1)、新潟日報(5/22)
ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム「エンド・オブ・ライフ・ケアに関わる看護師のための研修会」	上越タイムス(5/17)
呼吸のフィジカルアセスメント	上越タイムス(7/12)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)
気管吸引技術とそのエビデンス	上越タイムス(7/12)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)
看護研究のための統計処理 (統計専門ソフト SPSS の紹介)	新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)
わかりやすいプレゼンテーションのやりかた	新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)

講座名	記事掲載・放送
終末期の看取りについて	上越タイムス(8/16)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)
誤嚥を防ぐポジショニングと食事と口腔ケア	上越タイムス(8/23・10/8)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)
自分を活かし後輩を活かすプリセプターシップ/パートナーシップのあり方	上越タイムス(9/20)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)
看護を「教える」ということ～実習指導と新人看護師の教育において～	新潟日報(9/25)、新潟県立看護大学後援会だより vol.25(8月)
看護職員再就職支援講習会	広報いといがわおしらせばん(7/11)、広報上越(7/15)、テレビ伝言板(7/26)

4. 地域課題研究開発部門(6回)

発表会名	記事掲載・放送
平成 28 年度上越地域看護研究発表会 及び 平成 27 年度地域課題研究発表会	新潟日報(8/21)、上越かわらばん(8/29)、上越タイムス(9/6・9/23)、上越 ASA ニュース(9/10)、上越よみうり(9/17)

5. 事務局(2回)

講座名	記事掲載・放送
出前講座	FM みょうこう(3/18)、上越タイムス(3/21)

III 記事掲載・放送

新聞、放送等における取材は以下のとおりである。

1. 先駆的学習支援部門(1回)

講座名	記事掲載・放送
『看護大・上教大連携公開講座』 女性のダイエットと健康	上越タイムス(7/12)

2. 地域社会貢献部門『いきいきサロン』(8回)

講座名	記事掲載・放送
【第 1～6 回】	新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.30(1月)
【第 1 回】 歯を「なおす」から「まもる」へ	上越タイムス(5/19)、新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.29(7月)

